

韓国語コミュニケーション

責任者名：鄭 長勳

学期：後期

対象学年：1年

授業形式等：外国語

◆担当教員

鄭 長勳(外国語(韓国語) 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

基礎文法の習得と基礎会話が出来るようにする。韓国の文化にも触れ、日本から最も近い国である韓国についての知識を深める。

◆到達目標 (SBOs)

日本語の文を韓国語で書ける。

日本語の単語を韓国語で書ける。

韓国語で書いた文を見ないで言える。

韓国語と日本語や英語の相違点・文化の比較が説明できる。

◆評価方法

定期試験 (50%), 授業内課題遂行度 (50%)

課題に対するフィードバックを、Google Classroom にてその都度行う。

各回の授業開始時に課題遂行の結果について解説する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
鄭 長勳	授業終了後	deka20294@g.nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

前期に学習した内容を考慮しながら授業を進める。前期のうちに必ずハングルを読めるようにしておくこと。ハングルが読めないと後期の学習についていけなくなる。

授業予定に沿って講義と演習を行う。毎回授業の最後に習得度合の確認とフィードバックを実施する。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	韓国語へ旅しよう初級	李 昌圭	朝日出版社	
参考書	適宜指示する。			

◆DP・CP

[DP2] コンピテンス：世界の現状を理解し、説明する力

コンピテンシー：国際社会の現状と背景を理解し、地域社会における医療・保健・福祉の役割が説明できる。

[DP6] コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他社との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

[CP2] 国内外の医療・保健・福祉の現状を理解し、基礎・臨床・社会医学の知識を基に、国際社会で活躍できる基本的能力を育成する。

[CP6] 他者の意見を尊重し、明確な意思疎通のもと、円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

前回の内容を理解し、発話できるようにしておくこと。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

韓国語入門（1年前期）

◆予定表

注意事項：ハングルが読めることを前提に授業を進める。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1-2		8.31	5 ～ 6	【遠隔】 1. 前期のおさらいと尊敬形 (教) pp.121-125	・前期に学習した内容をチェックし、復習を行う。 ・尊敬形及び会話文の練習を行う。	鄭 長勳	
3-4		9.7	5 ～ 6	【遠隔】 2. 不規則活用 (教) pp.126-129	・不規則活用及び会話文の練習を行う。	鄭 長勳	
5-6		9.14	5 ～ 6	【遠隔】 3. これまでの復習 (教) pp.130-134	・これまでの復習及び会話文の練習を行う。	鄭 長勳	
7-		9.21	5	【遠隔】	・過去形及び会話文の練習を行う。	鄭 長勳	

8			～ 6	4. 過去形 教) pp.135- 141			
9- 10		9.28	5 ～ 6	【遠隔】 5. 連結語尾 教) pp.142- 146	・連結語尾及び会話文の練習を行 う。	鄭 長勲	
11 - 12		10.5	5 ～ 6	【遠隔】 6. 漢数字と諸助 詞 教) pp.147- 156	・漢数字と諸助詞及び会話文の練習 を行う。	鄭 長勲	
13 - 14		10.12	5 ～ 6	【遠隔】 7. 固有数字と諸 助詞 教) pp.157- 165	・固有数字と諸助詞及び会話文の練 習を行う。	鄭 長勲	
15 - 16		10.19	5 ～ 6	【遠隔】 8. これまでの復 習 教) pp166-170	・これまでの復習及び会話文の練習 を行う。	鄭 長勲	
17 - 18		10.26	5 ～ 6	【遠隔】 9. 非格式体丁寧 形語尾 教) pp.171- 177	・非格式体丁寧形語尾の作り方及び 会話文の練習を行う。	鄭 長勲	
19 - 20		11.2	5 ～ 6	【遠隔】 10. 非格式体否定 形 教) pp.178- 182	・非格式体否定形の作り方及び会話 文の練習を行う。	鄭 長勲	

21 - 22	11.9	5 ～ 6	【遠隔】 11. 提案・勧誘表現 教) pp.183-185	・提案・勧誘表現及び会話文の練習を行う。	鄭 長勲	
23 - 24	11.16	5 ～ 6	【遠隔】 12. 希望・願望表現 教) pp.186-187	・希望・願望表現及び会話文の練習を行う。	鄭 長勲	
25 - 26	11.30	5 ～ 6	【遠隔】 13. 理由、推量の表現 教) pp. 186-191	・理由、推量の表現及び会話文の練習を行う。	鄭 長勲	
27 - 28	12.7	5 ～ 6	【遠隔】 14. これまでの復習 教) pp. 192-195	・これまでの復習及び会話文の練習を行う。	鄭 長勲	
29 - 30	12.14	5 ～ 6	【遠隔】 15. 総括	・韓国, 韓国語について全般的な質疑応答を行う。	鄭 長勲	

